●◎○●

安全衛生 ―職場の改善事例―

●○◎●

3S活動 その3

労働安全衛生コンサルタント　金森英二

【前回まで】

労働安全衛生コンサルタントとして活躍する執筆者が、従業員数約20名の機械加工メーカーからの依頼により安全衛生活動の一環として『3S活動』（整理・整頓・清掃）を指導します。

初回では『3S活動』を始めたものの、コンサルタントの指導に同じ指摘が繰り返されるようになったため、班長クラス3名を実行委員に指名して『3S活動スケジュール』（本誌9月号参照）を作成。前回10月号では、【基本姿勢：全員参加】とした計画に沿って、工場内の『3S活動』が始まりました。活動の前半は順調に進んだ整理・整頓でしたが、だんだん日常の仕事に流されてスケジュール通りに進まなくなり……。

このまま『3S活動』は停滞してしまうのでしょうか。

▽　▽

この事業所は、社長をはじめとしてファミリー的な面があるため、お互いに遠慮して必要な物が「欲しい」と言えない風土がありました。

例えば、今回の活動後、工場内の片隅に私物が置かれている事が目立ったため指摘をすると、従業員から「今まで棚の中に入れていたがその棚が不用品として処分されたため、保管する場所がなくなってしまった。代わりとなるロッカーもない」という説明がありました。

しかし、ロッカーの購入依頼が出されていないため、「必要であれば、毎月開催される安全衛生連絡会議でロッカー購入の効果を説明し、依頼希望を出すように」と促した結果、すぐに購入され整頓が一つ進みました。（写真）

購入されたロッカー

その後連絡会議では、従業員から意見要望が出されるようになり、「仕掛品・完成品等の容器について、色分けをしたい」という意見も出されました。そしてそれはすぐに承認され作業の『見える化』にも効果が出てきました。

この事業所の3S活動はまだ途中ですが、全員参加による3S活動を通して活気が出てきており、今後に期待しています。

大手企業では、安全衛生に携わるスタッフもいて当たり前のように3S・5S活動が進んでいるが、中小企業ではまだまだである。このような実態を踏まえた上で、中小企業の安全衛生活動を応援・指導をしていきたいと思っている。

（完）

「企業の労働110番」会員事業場専用無料相談ダイヤル

電話　052－961－7110　・　FAX　052－961－9635
メールアドレス　roumu@meihokurouki.or.jp

労務管理、安全衛生管理、労働トラブル等にかかわるご相談がございましたら、上記までご連絡ください。事務局での面談、電話、メール、FAXにて社会保険労務士等の当協会専門職員が企業の立場でお答えいたします。